

オープンthe議会 2024



鳥栖市役所1階多目的ホール
2024.8.3(土) 10:00～11:30

タイムスケジュール



開会 10:00

あいさつ

委員会報告

(各15分)

総務常任委員会

建設経済常任委員会

文教厚生常任委員会

ワークショップ 10:55～

(30分程度)

閉会 11:30



2023報告会情報
鳥栖市ホームページ



総務常任委員会

所管

【政策部】 総合政策課・駅周辺整備課・情報政策課

【総務部】 総務課・財政課・契約検査課・庁舎建設課

【市民環境部】 市民協働課・市民課・保険年金課・税務課・環境課

中村委員長



伊藤副委員長



尼寺委員



松隈委員



森山委員



江副委員



池田委員



永江委員



総務常任委員会所管の主な事業

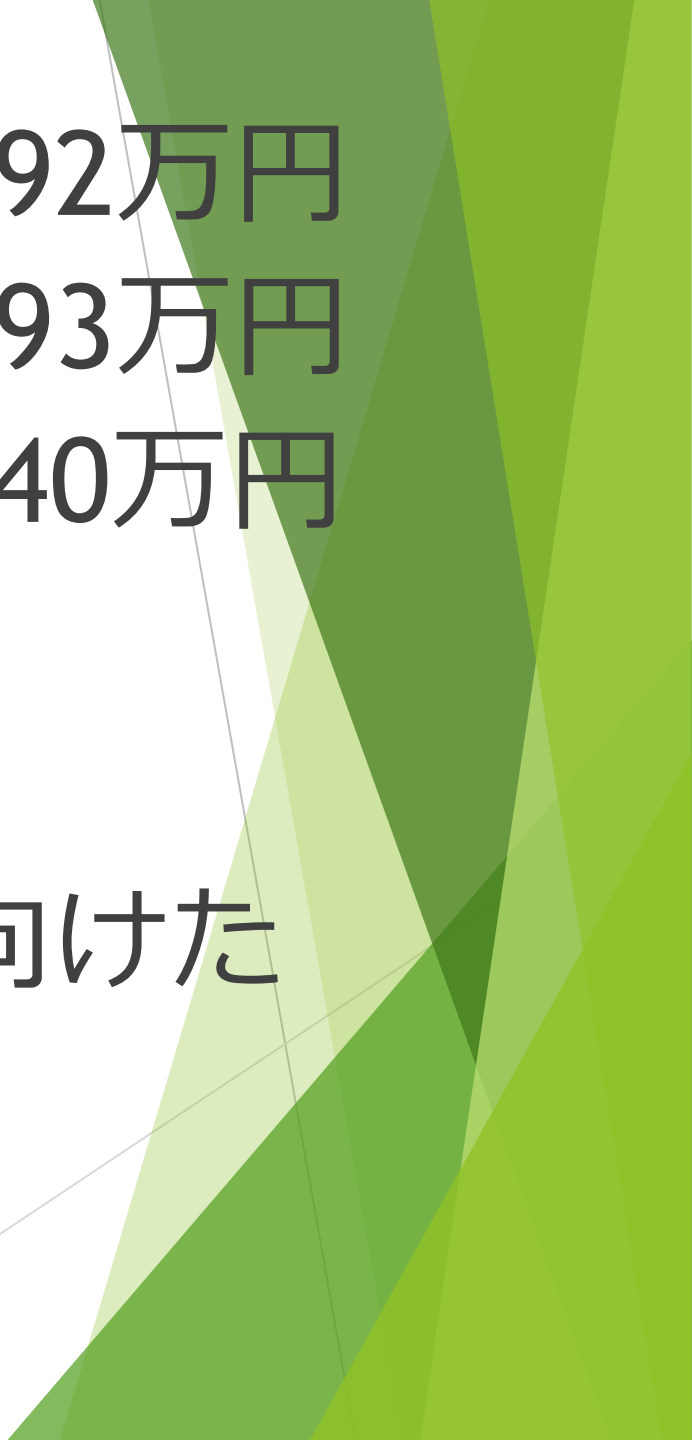


- 1、ゼロカーボンシティの取り組み
- 2、駅周辺整備事業

【市民環境部 環境課】

1. ゼロカーボンシティの取り組み

(令和5年12月21日にゼロカーボンシティ宣言)

- 
- | | |
|-----------------------------------|-------|
| ①電気自動車導入事業 | 292万円 |
| ②太陽光発電設置調査事業 | 693万円 |
| ③道路照明灯LED整備事業 | 840万円 |
| ④LEADS TO THE OCEAN
海に続くプロジェクト | |
| ⑤企業や大学との脱炭素社会に向けた
取り組みに関する連携協定 | |
| ⑥デコ活 | |

④ LEADS TO THE OCEAN 海に続くプロジェクト

行政

LTO LEADS TO THE OCEAN
海につづくプロジェクト

NPO

プロスポーツ



sagantosu

サガン鳥栖
since2024

海にゴミは行かせない！



TOSU CITY

市民



CHANGE
FOR THE
BLUE
海の未来を変える挑戦

日本財団

⑤ 【企業・大学との連携協定式】



パナソニック株式会社
エレクトリックワークス社との脱炭素社会
実現に向けた連携協定
(令和6年2月29日)



慶應義塾大学大学院メディアデザイン研
究科との鳥栖市における脱炭素社会の実
現に向けた取り組みに関する連携協定
(令和6年5月30日)

【パナソニック協定内容】

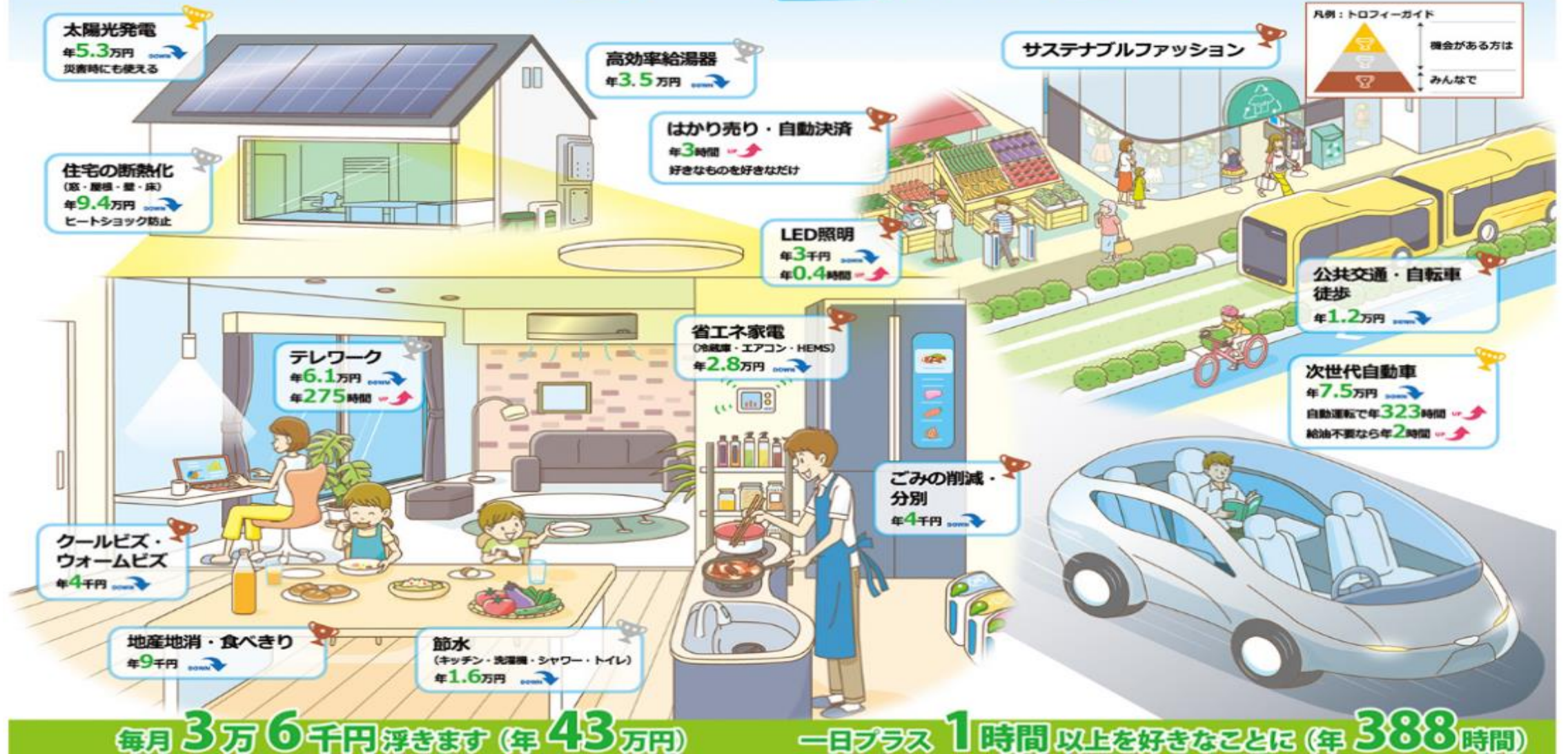
- ・ 市民への地球環境問題・脱炭素に資する啓発に関すること
- ・ 住宅の・省エネ・ZEH（ゼッチ）の認識度向上及び理解促進に関する事
- ・ ZEB（ゼブ）の認知度向上および理解促進に関すること
- ・ 鳥栖市所有施設のZEB化（ゼブ）改修可能性調査及び手法の検討に関すること
- ・ 前各号に掲げるもののほか本協定の目指すに資する事業に関すること

【慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科】

- ・ 再生可能エネルギーの導入促進及び省エネルギー化に関する連携
- ・ 関係団体等への啓発活動の推進、人材育成および交流のための連携
- ・ 脱炭素型ライフスタイルへの転換に関する連携
- ・ その他本協定の目的達成に必要な事項

⑥【デコ活】

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後



【駅駅周辺整備課】

2. 駅駅周辺整備事業

東口設置に関するこれまでの経緯

昭和 62 年 3 月から鉄道高架化事業等の構想を策定するものの、平成 18 年に鉄道高架連続立体交差事業の白紙撤回、平成 30 年に橋上駅と自由通路で計画するも多額の事業費のため事業断念に至った経緯がある。

過去の経緯を踏まえ、事業推進を図るために、短期・中期・長期と段階的に事業を進めていくこととする。

【経 緯】

- | | |
|-------------------|---|
| 昭和 62 年 3 月 | 鳥栖駅周辺市街地整備構想策定（約 100ha）
（鉄道高架化事業等を基幹事業とした構想）→ 平成 11 年に次世代先送り |
| 昭和 62 年 10 月 | 鳥栖商工センターから <u>鳥栖駅東乗降口の早期設置についての陳情</u> |
| 平成 8 年 6 月 | <u>虹の橋（鳥栖駅東西連絡通路）開通</u> |
| 平成 18 年 2 月 | 鉄道高架連続立体交差事業（約 4.3km）の白紙撤回 |
| 平成 18 年 10 月 | JR 鳥栖駅周辺整備推進協議会で東西連携方策を検討 ①
「駅前顔づくり事業」のメニューの一つとして <u>東口の設置</u> の議論がなされた。 |
| 平成 30 年 11 月 27 日 | 鳥栖駅周辺整備基本設計概要の議会報告 |
| 平成 30 年 12 月 3 日 | 橋上駅と自由通路による鳥栖駅周辺整備事業の断念 |
| 令和元年 8 月 | 鳥栖商工センター他から要望書「鳥栖駅橋上改札口新設の件」提出 . . ②
（事業断念を踏まえた橋上改札口設置による事業費削減案の提案） |
| 令和 3 年 10 月 | 鳥栖商工会議所から「鳥栖市の発展の礎を築くための要望」が提出
（東口の暫定設置） |

2. 短期施策の比較検討（評価の視点）

短期施策案選定の視点

駅東短期施策については、短期～中長期と続く市街地の分断解消を図るうえで入口を支える事業である。

将来の拡張整備に余地を残しながら、短期的な施設の投資的経費を極力抑制するものとなる。この視点から「①利便性向上（最低目標の担保）」「②施工期間」「③財政負担軽減」を基本視点とし、さらに「④将来拡張性」を視点に加え、駅東短期施策の整備案について評価する。

□短期施策としての評価

視点1 利便性向上

鉄道利用の利便性と
東西連携の向上を

視点2 施工期間

完成までの期間を
1年でも短く

視点3 財政負担軽減

市民にとって
効果があるものを安く

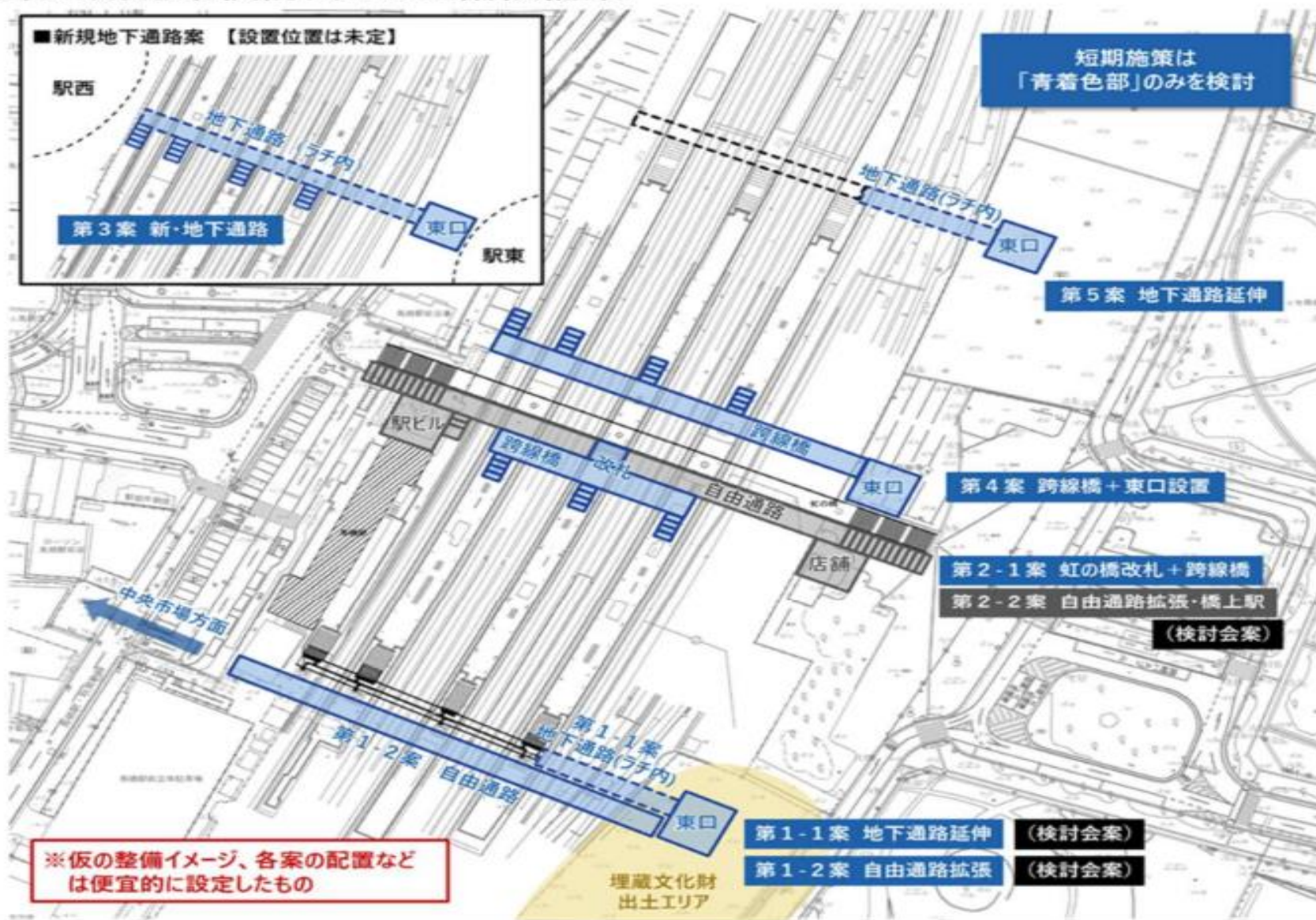
□将来への影響

視点4 将来拡張性

鉄道高架・橋上駅などの可能性検討も視野に入れた影響

鳥栖駅東短期施策の整備方針

鳥栖駅東短期施策検討会での整備候補案



令和6年度以降のながれ

R5～R6.5まで

鳥栖駅東短期施策 検討会

内容・・・
○ 短期施策に関する候補案（方向性）
○ 重視すべき点やまちづくり・連携など

鳥栖駅東短期施策

実務者会議 （短期施策関係）

事業関係者による整備事業
の実現性の検証

- ・JR九州、佐賀県、学識者
へ協力依頼
- ・工事費/方法(構造、期間、
施工方法)等の検証
- ・まちづくり計画の検討

事業の 具体化



短期施策基本 検討業務

短期施策の具体化、
まちづくり事業の調査・検討

- ・構造
- ・費用、期間
- ・まちづくり
- ・官民連携調査 等

反映



鳥栖市立地 適正化計画

鳥栖市街地を含む整備方針

- ・鳥栖市全体のまちづくり計画
策定
- ・短期施策の内容を反映し、
国交省補助制度等を見据
えた整備計画

国交省等の 補助申請

市予算充当／短期施策の事業化へ



令和 6 年度の取組スケジュール

令和 6 年度

- ～ 4 月 JR九州・佐賀県等の協力依頼
- 5 月 1 7 日 検討会提案の方向性について整理
- 5 月下旬～ 実務者会議の委員依頼
- 夏 ～ 秋頃 実務者会議の設置・協議



建設経済常任委員会

所管

【経済部】 商工観光課・農林課・農業委員会

【上下水道局】 管理課・水道課・下水道課

【建設部】 建設課・維持管理課・都市整備課・国道・交通政策課

委員紹介



藤田委員長



飛松副委員長



小石委員



齊藤委員



久保山委員



和田委員



野下委員



令和6年度当初予算のポイント

ゼロカーボンシティ宣言の推進

ゼロカーボンシティ宣言(令和5年12月)の具現化に取り組みます。

- 道路照明灯LED整備事業
- 電気自動車導入事業
- 太陽光発電設置調査事業

浸水対策の推進

頻発・激甚化する豪雨被害に対し、浸水対策の取り組みを進めます。

- 3D都市モデルでの洪水等の災害リスク可視化
(都市計画図更新及び3D都市モデル整備事業)
- 河川浚渫改良事業

建設経済常任委員会

のポイントは、

- 道路照明灯LED整備事業
- 3D都市モデル整備事業
- 河川浚渫改良事業

○道路照明灯LED化事業

(単位：千円)

目	5 交通安全対策事業費	予算説明書頁	146
---	-------------	--------	-----

事業名	交通安全施設整備事業（道路照明灯LED整備事業）							
本年度予算額	前年度予算額	増減額	財源内訳	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,400	0	8,400						8,400

1 目的
市が管理する街路灯等において、電気料金等の維持管理経費及び2050年度ゼロカーボン達成を念頭に置いた環境負荷の軽減を目的に、リース契約による一括LED化を行う。

2 事業内容
リース契約により市内のすべての街路灯等の既設灯具をLED器具へ交換する。

○ 道路照明灯LED整備事業（賃貸借契約）

8,400 千円/年	R6年度 ※0.5年分
16,800 千円/年	R7～R15年度
8,400 千円/年	R16年度 ※0.5年分

計 168,000千円

対象基数	
街路灯	トンネル照明等
2,646	21
計：2,667基	

リース事業スケジュール		
1年目 (R6年度)	～9月 LED化工事	10月～ 維持管理
2～10年目 (R7～R16年度)	維持管理	

※維持管理については既設分も含めた3,094基を対象とする。

※総数3,094基うち
427基はLED化済み

○ 命が守られ、安全・安心して暮らせる都市づくり

○都市計画図更新及び3D都市モデル整備事業 32,000千円 **新規**

洪水等の災害リスクを可視化し、立体的にわかりやすく表示するため、3D立体都市モデルを構築します。

○河川浚渫改良事業 152,000千円

近年頻発する豪雨災害対策として、準用河川や排水路等の浚渫改良等を行います。

事業内容

○ 準用河川改修・浚渫等工事	25,000千円
○ 大野川等改修（設計・工事）	84,000千円
○ 防災ため池工事（古賀第一ため池）	25,000千円
○ 排水路整備工事	12,000千円



3D都市モデルによる浸水リスク表示
のイメージ
（国土交通省PLATEAU（プラトー））

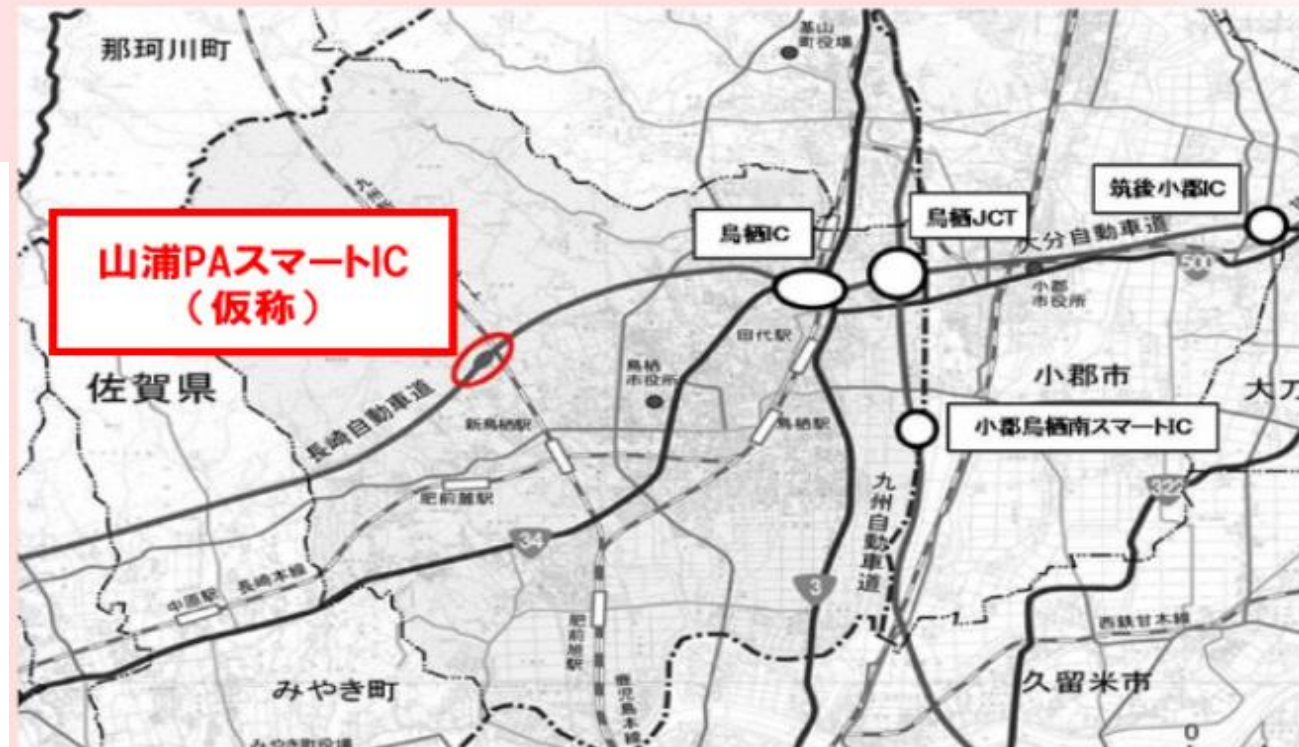
河川浚渫改良事業



○山浦PAスマートIC(仮称)調査検証事業

14,981千円 **新規**

山浦パーキングエリアスマートIC(仮称)
設置に係る基礎調査を行い、効果などを検証
します。



◆ トピックス ◆

1. 小郡鳥栖南スマートインターチェンジ開通
2. 新産業集積エリア整備事業造成工事(1・2区)
3. サザン鳥栖クロスパーク開発事業

1.小郡鳥栖南スマートインターチェンジ開通

令和6年6月9日



開発区域・面積

- 県道アクセス道路北側
- 約34ヘクタール



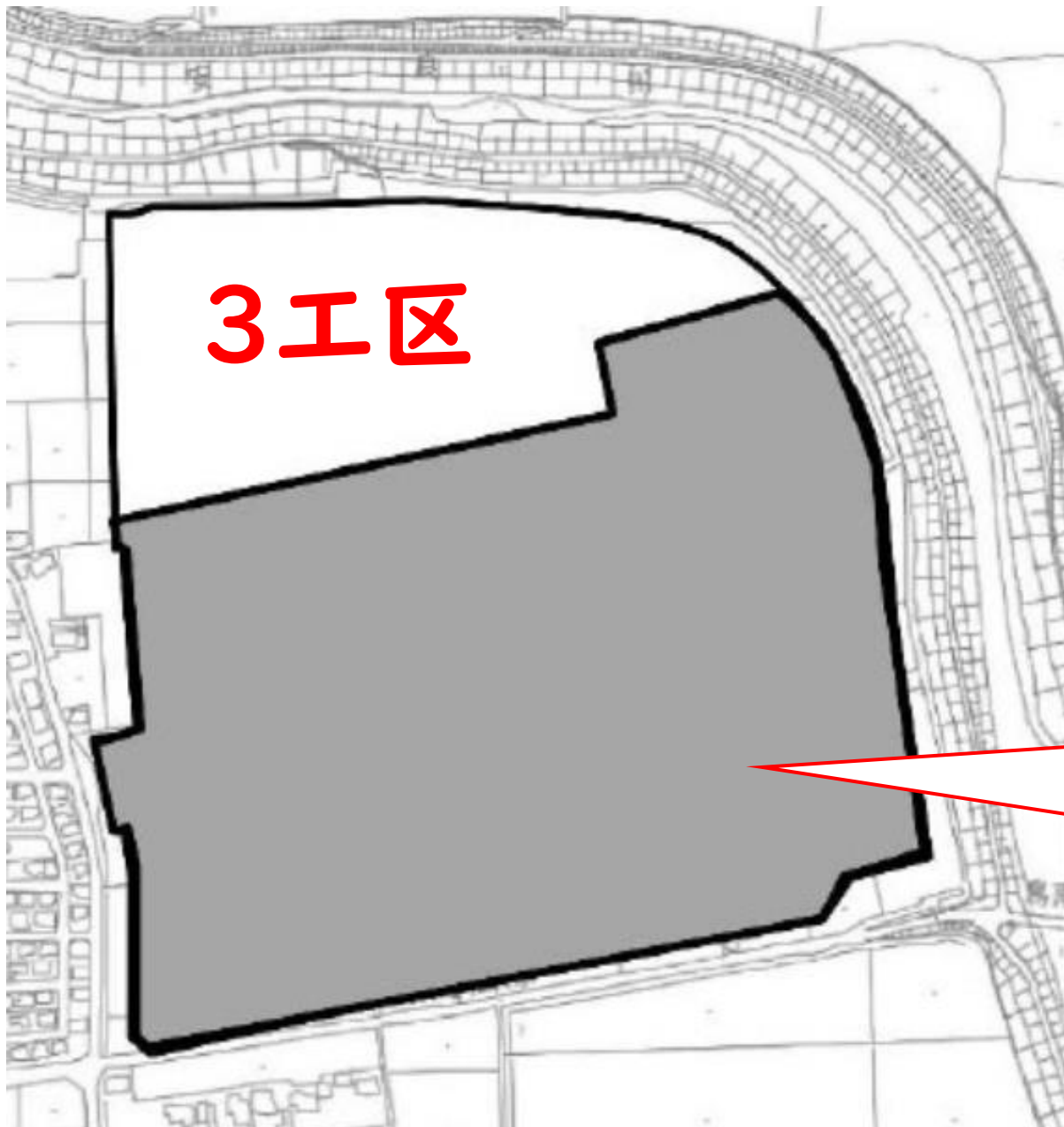
2.新産業集積エリア整備事業造成工事 (1・2区)

6月定例会の議案で

契約金額:

17億6653万7000円

に変更 (+93,940,700円)



3工区

凡例	
	新産業集積エリア鳥栖 開発区域
	造成工事区域

1・2工区
造成終了

3. サザン鳥栖クロスパーク開発事業



●開発事業者について

代表事業者
東急不動産(株)

構成事業者
日本国土開発(株)、丸紅(株)

「完成イメージ図 東急不動産株式会社 提供」



開発に関する想定スケジュール

年度	事業者
令和5年度	基本協定締結
令和6年度	用地交渉
令和7年度	用地交渉 立地事業者の選定 地域経済牽引事業計画（県承認） 地区計画作成
令和9年度	開発申請 農地転用申請 造成工事
令和10年度	造成工事
令和11年度	造成工事 建設工事
令和12年度	建設工事 操業開始



文教厚生常任委員会

所管

◆健康福祉みらい部

地域福祉課・高齢障害福祉課・こども育成課・健康増進課（保健センター）

◆教育部

教育総務課・学校教育課・学校給食課・生涯学習課

◆スポーツ文化部

スポーツ振興課・国スポ・全障スポ推進課・文化芸術振興課

文教厚生常任委員会



樋口伸一郎委員長



成富牧男副委員長



中川原豊志委員



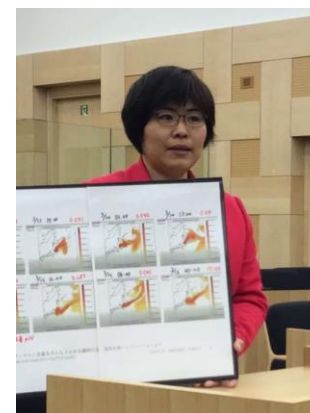
西依義規委員



田村弘子委員



緒方俊之委員



牧瀬昭子委員

所管事務調査 重点テーマ



1. 子ども・子育て

- ①多子世帯への学校給食費助成事業について
- ②水泳授業民間委託検証事業について



2. スポーツ環境整備

- ③多目的グラウンド整備について
- ④市民公園内スポーツ施設整備について



①多子世帯への学校給食費助成事業について 令和5年12月定例会

国の総合経済対策を受けた鳥栖市の対応

○(仮称)多子世帯への学校給食費助成事業 **新規**

⇒多子世帯の経済的負担軽減のため、市内に住所を有し、市立小中学校に在籍する、中学3年までの子のうち、第3子以降にあたる児童の給食費を全額助成

○学校給食費管理システム改修業務委託料 264万円 **新規**

⇒(仮称)多子世帯への学校給食費助成事業の実施に向け、学校給食管理システムの改修を行うもの。

← 交付金を活用した
検討中の事業



委員会での質疑

- 市立小中学生に3人いないと対象にならないとのことだが、その年齢枠を広げることができないのか。
- 上の子どもが、県立中学校で、下2人が市立小学校に行っている世帯は対象にならない。不公平を感じる。
- 今検討中の対象世帯では、誤解や混乱を招き、学校がその対応をすることになるのでは。

①多子世帯への学校給食費助成事業について

令和6年3月定例会

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
及び競馬事業収入活用基金を活用

○多子世帯に対する学校給食費助成事業 51,084千円 **新規**

多子世帯の子育ての経済的負担軽減と、子育て環境の一層の充実を図るため、学校給食費を助成します。

助成対象となる
多子世帯の児童生徒

小学校1年生以上の子どもを3人以上扶養し、
3番目以降にあたる市立小中学校に在籍している
児童生徒 ※基準となる第1子に年齢の制限はない。

問

どのような事業なのか。

答

保護者が3人以上の子を扶養しており、そのうち、第3子以降の子が、市立小中学校で給食の提供を受けている場合の学校給食費について、その全額を助成するものです。

問

第1子及び第2子については、年齢制限があるのか。

答

年齢の制限は設けておりません。

問

財源として、国の交付金と競馬事業収入活用基金を充てているが、3年や5年の時限的な事業として考えているのか。

答

今回は、財源として国の交付金と競馬事業収入活用基金を充てていますが、事業としては長く続けていきたいと考えております。

②水泳授業民間委託検証事業について 令和6年3月定例会

○水泳授業民間委託検証事業 4,430千円 **新規**

天候に影響を受ける小中学校の水泳授業時間の確保を行い、今後の水泳授業のあり方及びプール施設のあり方を検討するため、小学校1校の水泳授業について試行的に民間委託を行います。

（背景）小中学校の水泳授業については、天候不順や管理業務、児童生徒の体調管理、事故予防など、教職員に係る負担が大きい。また学校プールは経年劣化による老朽化が進んでいる。

受託事業者：ベストスイミングクラブ鳥栖

対象校：若葉小学校

事業内容：授業回数・・・1年生～4年生 6回、
5年生、6年生 6回 + 着衣水泳1回

予算額：①水泳授業の委託3,802千円（1人：1,600円/回）

②着衣水泳授業の委託232千円③保険料396千円



②水泳授業民間委託検証事業について 令和6年6月定例会（現地視察）

○タイムスケジュール

9時15分 児童集合時間（受託事業者所有バス4台に分乗）

9時20分 若葉小学校出発

9時35分 ベストスイミングクラブ鳥栖到着

9時45分～10時45分④授業開始

10時55分 ベストスイミングクラブ鳥栖出発

11時10分 若葉小学校到着



○若葉小検証授業計画

①グループ1（小2；56人、小5；64人、小6；66人）→ 授業期間：5月16日～7月18日

②グループ2（小1；55人、小3；52人、小4；62人）→ 授業期間：9月2日～11月20日

○授業実施方法

1学年50人～60人を3グループに分けて、1グループに2人の指導員が付き授業（実技指導）を行う。
担任の先生は、プールサイドから児童の見守りを行う。

1.子ども・子育て（所管事務調査重点テーマ）

- ・(1)学校施設について
- ・(2)放課後児童クラブの指導員不足について
- ・(3)入所待ち児童、保育士不足について



文教厚生常任委員会としては、

上記の課題解決の他にも、市民の皆様の様々な意見を聞き、市の財政力とのバランスや持続可能かどうかも考えながら、医療費・保育料・給食費の更なる助成など、子育てしやすい環境づくり、子育て政策を議論し、もっと進めるように、市に求めています。

③多目的グラウンド整備について

○多目的グラウンド

九州龍谷短大の跡地活用に関して、
市の見解「**多目的グラウンド**をはじめとするスポーツ施設が有力な選択肢の一つになる」

文教厚生常任委員会としては、

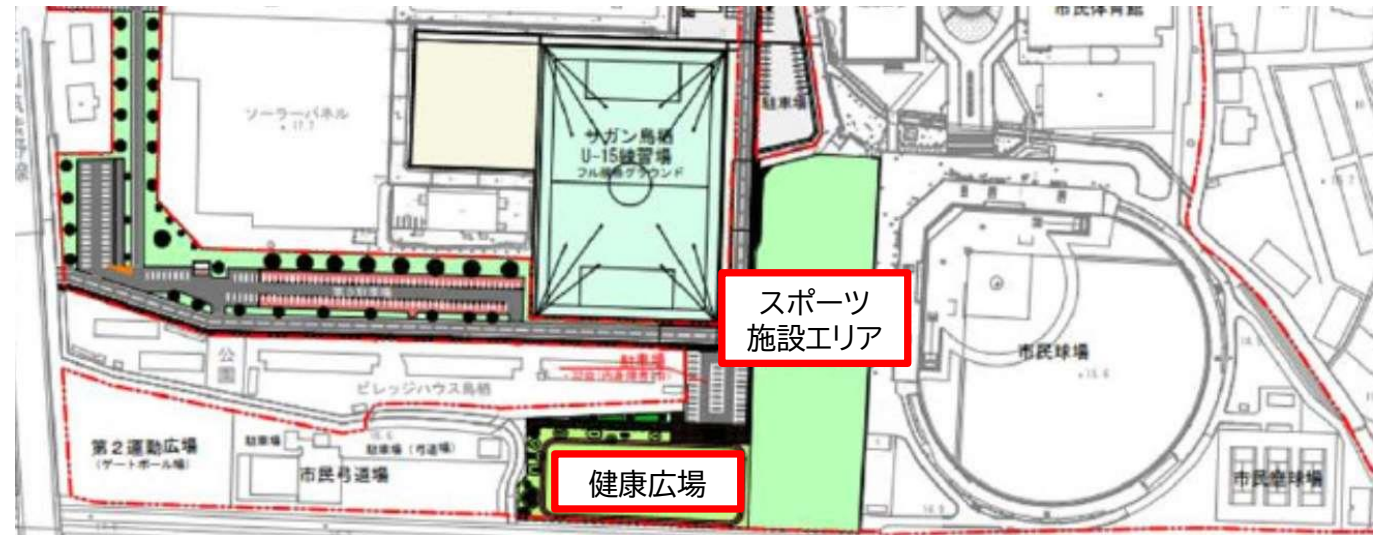
市民の皆様の様々な意見を聞き、多目的グラウンドの整備地は、九州龍谷短大の跡地でいいのか？規模はどれぐらいが適当か？その他どのような施設が必要なのか？などを早急にまとめ、市に提案していきます。



④市民公園内スポーツ施設整備について 令和6年6月定例会（一般質問）

○市民公園内のスポーツ施設エリア

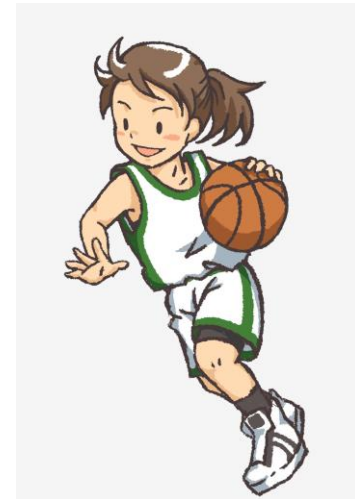
- 健康スポーツセンター（仮称）：温水プール、幼児プール、トレーニングルーム等
「当時の実施設計による建設は困難」「今の任期中に新たな温水プールの建設は予定していない」
- 市民プール：45年が経過して老朽化が進み、今年4月に廃止方針が決定。
跡地は**健康広場**（健康遊具・ウォーキングコース・芝生広場）と**スポーツ施設エリア**として整備する計画。
候補案：
 - ・温水プール
 - ・テニスコート
 - ・3オン3屋外バスケットコート
 - ・全天候型屋外運動施設など



④市民公園内スポーツ施設整備について (所管事務調査)

スポーツ施設整備方針（コンセプト）は・・・

- 温水プール
- テニスコート
- 3オン3屋外バスケットコート
- 全天候型屋外運動施設



文教厚生常任委員会としては、

市民の皆様の様々な意見を聞き、市民公園内にふさわしいスポーツ施設を調査検討するとともに、市議会としての「整備施設」を早急にまとめ、市に整備を求めています。

ワークショップ

11:25まで



【グループテーマ】

- ①防災対策
- ②ゼロカーボン
- ③地域公共交通(路線バス・ミニバス)
- ④観光振興
- ⑤子ども・子育て
- ⑥スポーツ環境

【流れ】

- ①簡単な自己紹介
- ②協議

ご参加ありがとうございました



アンケートのご協力をお願いします